



ナギ（柵） <マキ科 ナギ属>

伊豆半島の^{しまねしま}式根島、紀伊半島、山口、四国、九州、沖縄の暖地帯に生える常緑高木。葉は対生し、革質で厚く濃緑色で光沢があり、細い平行脈が多数ある。葉身は5~8 釐。一見広葉樹に見えるが針葉樹。花は5月頃に開花し^み実を結ぶ。実は直径10~15 釐の球形で外側はオリーブ色で白い粉をかぶり、10~11月に熟すと褐色になる。別名チカラシバ。和名は、葉の形がミズアオイ科のコナギに似ていることから。…▼観察会に参加の折、ひと枝頂いた。きりっとした艶やかな緑の葉を^ま纏うナギ。▼葉は強靱で切れにくく、^{いにしえ}古から縁結びの神として男女が鏡の裏に忍ばせお守りにしたという。ナギは、エピソード豊富な「幸せを呼ぶ木」。▼まもなく迎える早春の候。陽の明るさに、伸びる日脚に、春を待つ心にそれはやって来る。厳しい寒さを乗り越える為の計らいに満ちた季節、到来。~佐伯区倉重 2023・1~